

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回10月の「てがたん」は10月13日(土)で「様々な植物たちの種子散布」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**10月6日(土)**です。よろしくお願いたします。

9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→市民農園脇の水田→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年9月8日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 29名(一般15人、子ども14人)
- 市民スタッフ 9名(窪田憲史、小泉伸夫、竹本周平、弘寛さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 9月てがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カウウ/サギ科：コサギ/カモ科：カルガモ/ハト科：キジバト/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヤマガラ科：ヤマガラ/メジロ科：メジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：ドバト

【両生類】アマガエル科：ニホンアマガエル/ダルマガエル科：トウキョウダルマガエル

【は虫類】トカゲ科：ニホントカゲ/カナヘビ科：ニホンカナヘビ

【昆虫・クモ】

トンボの仲間：ノシメトンボ、シオカラトンボ、アジアイトトンボ、マイコアカネ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、クルマバッタモドキ、ヒシバッタ、イボバッタ、クビキリギス、クサキリ、ウスイロササキリ、クダマキモドキ、セスジツユムシ、タンポコロオギ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ(声)、ミツカドコオロギ(声)、オカメコオロギ、キンヒバリ(声)、クサヒバリ(声)、スバズ(声)、マダラスズ(声)/カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ/チョウ・ガの仲間：モンキチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ムラサキシジミ、アゲハ、ナガサキアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン、ヒカゲチョウ、ヒメジャノメ、モンクロシャチホコ(幼虫)、セスジスズメガ(幼虫)、イラガ(幼虫)、チャドクガ(幼虫)/ハチの仲間：ニホンミツバチ、ヒメスズメバチ、ツチバチ(種不明)/カマキリの仲間：コカマキリ、ハラビロカマキリ/クモの仲間：オニグモ、ナガコガネグモ

【花】

キク科：ハキダメギク、オオアレチノギク、アメリカタカサブロウ、セイヨウタンポポ、ノゲシ、ハハコグサ/カタバミ科：カタバミ/ツユクサ科：ツユクサ/オモダカ科：オモダカ、ヘラオモダカ/カヤツリグサ科：ヤマイ/マメ科：クズ、ツルマメ、ヤハズソウ、ヌスビトハギ/ブドウ科：ヤブガラシ/タデ科：オオイヌタデ、ミズヒキ、イヌタデ、オオケタデ/イネ科：チヂミザサ、エノコログサ、ジュズダマ、チカラシバ/アカバナ科：チョウジタデ、メマツヨイグサ/ユリ科：キツネノカミソリ(植栽)オシロイバナ科：オシロイバナ/ゴマノハグサ科：トキワハゼ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/ミズアオイ科：コナギ/イラクサ科：カラムシ/アカネ科：ヘクソカズラ/ハエドクソウ科：ハエドクソウ/ヒユ科：ヒナタイノコヅチ、ホソアオゲイトウ、ホナガイヌビユ/ツルナ科：クルマバザクロソウ/アカザ科：ゴウシュウアリタソウ/バラ科：ノイバラ/クマツヅラ科：クサギ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ(植栽)/ミソハギ科：サルスベリ(植栽)

9月の観察アルバム



今月の案内人：小泉 伸夫さん



今回のてがたんのテーマは「草原の生き物観察」でした。アカトンボの観察がテーマの一つでしたが、当日はトンボの仲間があまり見られず、秋に高地から平地へ戻ってくるアキアカネの姿は観察できませんでした。バッタの仲間は姿や声など合わせて22種を確認しました。植物はタデ科やマメ科など秋の花が目立ち始めました。



キツネノマゴの種は果実が乾燥すると勢よく弾ける



くつつき虫の子チミザサの花をよく見るとちゃんとイネ科らしい花をしている



大人も子どもも休耕田でバッタ探し



産卵を終えたシオカラトンボ

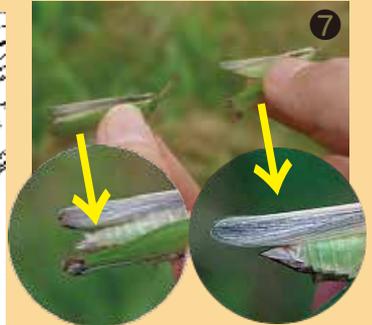


草食のクダマキモドキは高い木の上にいることが多い



歩道で見つけたムクドリのフン

フンの中にはヒサカキの種がありました。フンは電線沿いにあり、秋になってだんだん大きな群れで動き始めている感じが感じられます。



コバネイナゴとハネナガバッタ

見た目がよく似ている2種ですが、よく見るとハネナガバッタは腹部より羽の方が長いことが分かります。



手賀沼遊歩道沿いで一面を覆うように群生していたヤマイ



夏も終わりに近づき、クズやツルマメなど秋の花が咲き始めた(写真ツルマメ)



高さが1.5mほどになるオオクダデは大型で葉や茎に毛が多く生える



茎を裂いてできる四角形を蚊帳にみたてたのがカヤツリグサの名の由来



ゴツゴツした顔が特徴のイボバッタ

今月の鳥 ムクドリ

(スズメ目ムクドリ科)

全長：約24cm

日本では全国的に分布しています。開けた草地を好み、地上で昆虫やミミズ、果実などを食べます。

繁殖期は4～7月頃で、人工物のすき間や民家の戸袋などに巣を作ります。卵の色は青色で、一つの巣で5～7個産みます。

繁殖期が終わり、秋から冬になると巣立った幼鳥は他の成鳥と群れをつくって埒(ねぐら)をとるようになります。本来は竹林やヨシ原などで埒をとりますが、近年、都市部では駅前の電線や街路樹で冬の間、埒をとるケースも増えています。



ムクドリ



ムクドリのねぐら

場所：JR天王台駅北口 撮影：小泉伸夫さん